



ITU-R SG5 WP5D中間会合の結果について

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
システム開発係長（執筆当時）

まるばし ひろひと
丸橋 弘人



1. はじめに

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）SG5（地上業務研究委員会）の傘下のWP5D（IMT Systems担当）の中間会合が、2022年4月19日（火）から22日（金）に、ジュネーブのITU本部において開催されたので（遠隔からも参加可能）、その結果について報告する。

(1) WP5Dの所掌及び会合の概要

WP5DはIMT（International Mobile Telecommunications：IMT-2000、IMT-Advanced、IMT-2020及びそれらの高度化・将来開発を包括する無線システム）の地上コンポーネント関連の検討を所掌としており、IMTに関する各種ITU-R勧告、報告類の策定、改訂作業及びWRC議題関連の検討を行っている。

前回の第40回会合では、WRC-23議題に係る周波数共用検討のほか、IMT-2020無線インタフェース技術の新たな提案を受けた評価の開始、IMTの将来の技術・構想の検討等が行われた。

今回の中間会合は、WP5Dが責任グループとなっているWRC-23議題（議題1.4を除く議題1.1、議題1.2）の検討と、RR第21.5条の検討に特化して、第40回会合と第41回会合の中間に開催された。

今会合には、56か国、59機関から427名が参加し、日本からは14名が参加した。日本からの寄与文書2件を含む64件の入力文書が検討され、22件の文書が出力された。

■表. WP5Dの審議体制（敬称略）

	担務内容	議長
WP5D		S. BLUST (AT&T)
WG GENERAL ASPECTS	IMT関連の全般的事項	K. J. WEE (韓国)
WG SPECTRUM ASPECTS AND WRC-23 PREPARATIONS	周波数関連	M. KRÄMER (ドイツ)
WG TECHNOLOGY ASPECTS	無線伝送技術関連	H. WANG (中国)
AH WORKPLAN	WP5D全体の作業計画等調整	H. OHLSEN (Ericsson)

(2) 主要議題及び主な結果

① 一般関連（General Aspects関連）

- ・今会合では行われなかった。

② 技術関連事項（Technology Aspects関連）

- ・今会合では行われなかった。

③ 周波数及びWRC-23議題関連事項（Spectrum Aspects and WRC-23 Preparation関連）

- ・WRC-23議題1.1「4800-4990MHzにおける公空及び公海における航空、海上移動業務無線局の保護手段の検討と脚注5.441Bのpdf要件の見直し」について、寄与文書に基づき、当該業務の無線局を保護するための技術運用条件に関する新報告草案に向けた作業文書及びCPMテキスト案の作業文書を更新し、次回会合に持ち越すこととなった。
- ・WRC-23議題1.2「3300-3400MHz、3600-3800MHz、6425-7025MHz、7025-7125MHz及び10.0-10.5GHz帯における移動業務への一次分配を含むIMT特定の検討」について、各周波数帯における共用・両立性検討に関する作業文書、CPMテキスト案の作業文書等を更新し、次回会合に持ち越すこととなった。
- ・WRC-23議題1.4「2.7GHz以下でIMT特定された周波数帯におけるIMT基地局としての高高度プラットフォームステーション（HIBS）利用の検討」について、今会合では扱われなかった。
- ・AAS（Advanced Antenna System）を用いるIMT無線局にRR第21.5条（1GHz超の宇宙業務の保護のための地上局のアンテナ入力電力制限値）を適用することについて、寄与文書の内容を反映した作業文書の更新が議長代理によって行われ、レビューが行われたが、タイトルの修正、RR改定を含む記載の包含に関し議論となり、合意に至らず、2022年6月の第41回会合のプレナリにて継続議論することとなった。
- ・AASのアンテナパターンのモデル化の検討について、今会合では扱われなかった
- ・周波数アレンジメントに関するITU-R勧告M.1036の改訂

作業について、今会合では扱われなかった。

- ・ 1.5GHz帯のIMTとMSSシステムの両立性検討について、今会合では扱われなかった。
- ・ 2655-2690MHzのMSSとIMTの共用検討について、今会合では扱われなかった。
- ・ WRC-19の決議212に基づく、2.1GHz帯地上IMTと衛星コンポーネントIMTの共存・両立性を促進させる技術・運用上の方策の検討について、今会合では扱われなかった。

2. 今後の予定

次回以降、各会合は以下のとおり開催される。

- ・ WP5A、5C会合（第27回会合）：2022年5月23日（月）～6月3日（金）（遠隔参加可能な物理会議）
- ・ WP5D会合（第41回会合）：2022年6月13日（月）～24日（金）

（遠隔参加可能な物理会議）

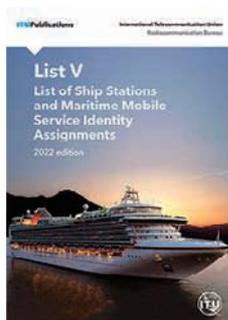
- ・ WP5B会合（第28回会合）：2022年7月11日（月）～22日（金）（遠隔参加可能な物理会議）

3. おわりに

今回は、WRC-23議題に関する共用検討について、2022年6月の第41回会合に完了させることを目標に、4日間の中間会合を開催して検討が加速された。

WRC-23議題等に関する検討に対して、今回の会合でも、日本から積極的に議論に貢献できた。このことは、長時間・長期間にわたる議論に参加された日本代表团各位、会合前の寄書作成や審議に貢献していただいた関係各位のご尽力のたまものである。この場をお借りして深く御礼申し上げる。

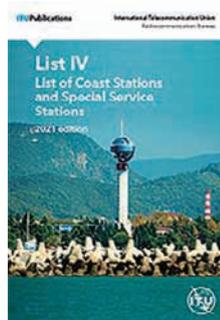
国際航海を行う船舶局に必須の書類 好評発売中！



船舶局局名録
2022年版
-New!-



海上移動業務及び
海上移動衛星業務で使用する便覧
2020年版



海岸局局名録
2021年版

お問い合わせ： hanbaitosho@ituaj.jp

